

令和7年度CSアドバイザー派遣事業 実施要項

生涯学習課

1 趣 旨

コミュニティスクール（信州型、国型含む。以下「CS」）及び学校と地域が連携・協働する取組の推進にかかわってきたコーディネーターや教員、市町村教育委員会職員等にCSアドバイザーを依頼する。CSアドバイザーを学校と地域との連携・協働を進める学校や研修会等へ派遣し、経験を生かした適切なアドバイス等の支援により、取組内容の一層の充実を図る。

2 事業内容

（1）派遣による支援の概要 ※指導主事が帯同する

① 支援内容

- ・学校運営委員会や学校運営協議会（以下「国CS」）の効果的な活用の仕方について
- ・国CS導入に向けた市町村教育委員会、学校に必要な準備について
- ・学校と地域が連携・協働するための仕組みや取組について
- ・コーディネーター、ボランティアの発掘・養成について
- ・ボランティアのネットワーク化に関する工夫について
- ・地域とともにある学校づくりに係る校内研修の在り方について

② 派遣先：市町村教育委員会、学校、学校との協働・連携を希望する民間団体等

③ 形 態： 講演、懇談（要望による）

例 校内職員研修会、運営委員会研修会、学校運営協議会研修会、CS説明会、学校・市町村ボランティア研修会 地域の材を活用した授業づくり等
各種研修会・打ち合わせ会

④ 時 間： 1～2時間（要望による）

（2）CSアドバイザー

市町村教育委員会や学校等において、学校運営参画の充実、国CSの設置、ボランティアの組織化、コーディネーターやボランティアの養成等、学社連携・協働の促進等に先駆的に取り組んでいるコーディネーターやボランティア、教育委員会職員等。

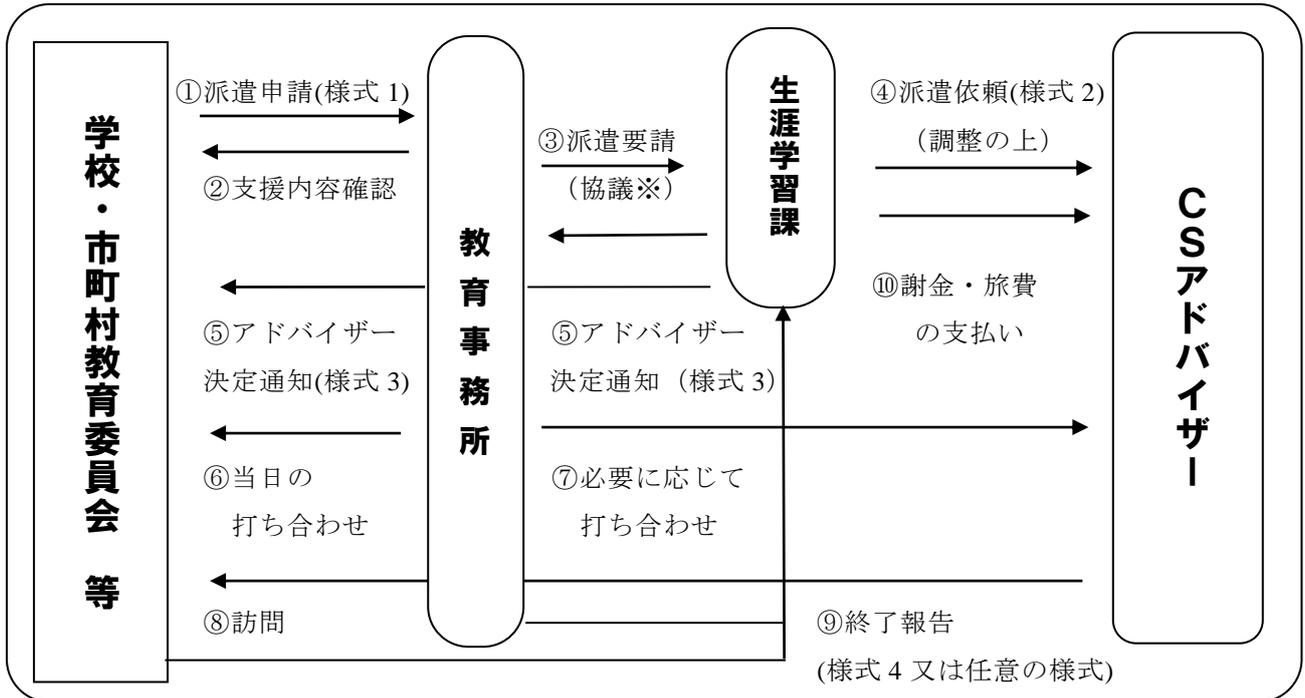
A レギュラーアドバイザー（別紙名簿参照）

長野県教育委員会が「CSアドバイザー」として年度当初に依頼する。

B スペシャルアドバイザー

学校現場等の個別の要請に応じるために、生涯学習課と教育事務所の協議によって適当と認める実践者を「CSアドバイザー」として年度途中に依頼する。

(3) CSアドバイザー派遣の流れ



- ① 派遣を希望する市町村教育委員会や学校等は、おおむね2ヶ月前までに、所管の教育事務所生涯学習課へ「様式1」と要項を提出し、派遣申請を行う。(データで提出)
- ② 教育事務所は、申請した学校等と、詳しい支援要望等を確認する。
- ③ 教育事務所は、生涯学習課へ派遣を要請する。その際①で提出された様式1と要項のデータを提出する。
- ④⑤ 生涯学習課は、支援内容を勘案し、調整の上、派遣するレギュラーアドバイザーを決定し、本人への派遣申請(「様式2」)を行う。
 ※ 学校等が要望する支援内容によっては、教育事務所と生涯学習課の協議により、スペシャルアドバイザーの派遣を決定する。この場合、様式1の「CSスペシャルアドバイザー」を選択する。
 生涯学習課は、教育事務所、学校等へアドバイザーの決定を通知する。(「様式3」)
- ⑥⑦ 教育事務所は、学校等と当日の日程等について打合せ、アドバイザーへも伝える。(おおむね1ヶ月前)
- ⑧ 当日訪問(アドバイザー及び指導主事)
- ⑨ 教育事務所等派遣依頼者は、「様式4」又は、任意の様式による報告書を生涯学習課へ提出する。
- ⑩ 生涯学習課は、アドバイザーへ謝金及び旅費を支払う。

(4) アドバイザー、教育事務所、生涯学習課の役割

①CSアドバイザーの役割

- 申請のあった学校等や研修会等へ訪問し、要望や課題に合わせて自らの実践に基づき地域と学校が連携・協働する取組を促進するためのアドバイス（講演・懇談）を行う。

②教育事務所の役割

- 学校等の申請を受けて、生涯学習課へ派遣の要請をする。
- 支援内容（課題・ニーズ）及び研修当日の日程について、学校等とアドバイザー間の連絡調整を行う。
- アドバイザーに同行し、要請に応じて信州型CSや国CSの概要等について説明する。
- 訪問終了後、生涯学習課へ報告する。（「様式4」又は別紙による）

③生涯学習課の役割

- 教育事務所の要請を受けて、支援内容等をふまえて、アドバイザーを決定し、アドバイザーへ派遣申請を行う。（「様式2」）
- 教育事務所や申請のあった学校等へ、アドバイザー派遣決定を通知する。（「様式3」）
- 研修実施後、アドバイザーへ謝金・旅費を支給する。
- アドバイザーを参集し、県内外コミュニティスクールの実践状況についての基本的な理解の統一を図る。
(CSアドバイザー連絡会 年2回)

(5) CSアドバイザー連絡会の開催 対象：レギュラーアドバイザー

①第1回 5月

- CSアドバイザーの目的と役割の確認
- CS促進についての共通理解、県内外の状況確認

②第2回 2月

- CSの状況及び課題把握
- 次年度の事業構想の検討

3 令和7年度予算額 689千円

- ① アドバイザー謝金・旅費 30カ所
- ② CSアドバイザー連絡会謝金・旅費 2回